



Capacity Statement

2024年6月

より持続可能でジェンダー平等な世界を  
目指す真の  
気候変動教育

# 目次

はじめに	3
なぜCCEを推進しなければならないのか?私たち独自の付加価値:	4
ジェンダー・トランスフォーマティブ気候変動教育世界的な影響: C	5
CCEプログラムと働きかけ	6
プログラム	6
働きかけ	13
調査	15
今後の展望:CCEの次の目標は?	16

## 略語集

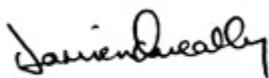
AA	予見的行動
ACE	気候エンパワーメントのための行動
ASEAN	東南アジア諸国連合
CCE	気候変動教育
COP	気候変動枠組条約締約国会議
DRM	災害リスク管理
DRR	災害リスク軽減
EIE	緊急時の教育
GADRRRES	教育セクターにおけるDRRとレジリエンスのための国際連盟
GBV	ジェンダーに基づく暴力
GCE	地球市民教育
GPE	教育のための国際連携
GRSCSI	ジェンダーに配慮した学校とコミュニティの安全への取り組み
GTE	ジェンダー・トランスフォーマティブ教育
IDP	国内避難民
IQE	包摂的で質の高い教育
NDCs	国が決定する貢献
PtR	レジリエンスへの道
SQRIBE	安全で質が高く、レジリエンスがある、包摂を基盤とする教育
SSI	安全な学校計画
UNGEI	国連女子教育計画
UNEP	国連環境計画
YAP	ユース諮問委員会

## 序文

気候変動と環境悪化は、世代間、植民地的な・時代に由来する、ジェンダー、経済的正義の問題である。気候危機は、子ども・思春期の若者・ユースの教育を受ける権利を、直接的・間接的に脅かしている。しかし、**教育は気候変動の影響を受けるだけでなく、その有害な影響に対処するための重要な解決策でもある。**

すべての子ども・思春期の若者・ユースには、就学前から中等教育レベルまで一貫して、包摂的で質の高い教育(IQE)を受け、修了する権利があり、それは基本的かつ普遍的なものである、とプラン・インターナショナルは考えている。また、私たちは、ジェンダー不平等と気候危機の根底にある構造的不正義と抑圧に取り組む、ジェンダー・トランスフォーメティブ・アプローチを推進している。

本書は、プラン・インターナショナルの気候変動教育(CCE)への取り組みに関するCapacity Statement(能力表明)であり、私たちのプログラムと働きかけの約20年にわたる将来性のある実践をまとめたものだ。これは、アジア太平洋地域における子ども主導の災害リスク軽減(DRR)教育から、COPの結果に影響を与える世界的なユース主導の働きかけに至る。本書は、私たちの活動に関する知識と理解を深め、CCEにおける今後のプログラムと提唱活動の開発に役立てることを目的としている。また、パートナーや利害関係者に対し、私たちの活動、能力、そしてこの分野に与える付加価値を伝えることを目的としている。本書は、私たち自身の改善と成長が必要な領域を特定し、より持続可能で校正、かつジェンダー平等な世界を実現するためにより高い効果をあげることを目的とした、絶えず改善され続ける生の集合的文書である。



**Damien Queally**

グローバル・プログラム&オペレーションディレクター兼暫定COO

## はじめに

プラン・インターナショナルのCCE活動は、アフリカ、アジア太平洋、ラテンアメリカの重点国に加え、オーストラリア、カナダ、アイスランドなど北半球の一部の国でも、公式、非公式、非正規の環境における教育へのアクセス、提供、内容をも扱う。

2008年に開始され、IQE、ジェンダー・トランスフォーメティブ教育(GTE)、総合的な学校安全、緊急時の教育(EiE)、レジリエンスへの道(PiR)などの実績ある組織的アプローチと統合され、子ども中心のDRR教育における、20年近い経験を持つ組織の強力な基盤の上に、この活動は成り立っている。

プラン・インターナショナルは、主要な戦略的提携を通じて、草の根組織やユース主導の組織、国連機関、教育省、環境・気候変動省、国家防災機関、気象機関などと能力を高め、協力し、CCEに関する統合的な活動を主導・強化している。

CCEが人命を救い、知識を築き、子どもやユースが気候変動に対する行動や政策においてリーダーシップを発揮する力をつけることが可能であることを、先に述べた経験や調査結果から明らかになった。**プラン・インターナショナルは、気候危機の対処に必要な規模の変化を目指し、今後数年間、CCEに関する活動を構築し、強化していく。**本書は、CCEに関する組織の能力について、概念的枠組みの概要、プログラムと提唱活動のアプローチ、そして国際組織全体の事例研究を通じた好事例を概説する。

### プラン・インターナショナルのCCEとは

プラン・インターナショナルのCCEに対するアプローチは、包摂的で質の高いGTE<sup>1</sup>、EiE、CSS、DRM、気候変動、レジリエンスに関する経験とプログラムに基づく。私たちは3つの重点分野でCCEの推進に取り組んでいる。

#### 気候変動が教育制度に与える影響への対応

気候変動によるショックやストレス下でも、包摂的で質の高い教育の継続性を保証する。これには、リスク削減、予見的行動(AA)、EiE、レジリエンス強化の側面から、気候変動への適応戦略や備えに対する投資や政治的支援の拡大の模索も含まれる。

#### 気候変動を教育課程に組み込む

公式・非公式の教育課程に包摂的で質の高いCCEを盛り込み、あらゆる多様性を持つ子ども、思春期の若者、ユースが、自らの安全を守り、災害への備えとコミュニティのレジリエンスを向上させるために必要な知識、技能、態度、行動を身につけられるようにする。

#### 学習を気候変動に対する行動につなげる

子ども、思春期の若者、ユース、特に女の子が、地域、国、国際レベルでの気候変動政策プロセスへの参加を含め、気候変動に対する行動や提唱活動に参加できるようにするための学習を促進する。学習が子ども、ユース、女の子主導の行動につながるようにするための環境整備は、プラン・インターナショナルの気候教育へのアプローチの重要な要素である。

<sup>1</sup> IQEとは、最も脆弱で疎外されている子どもを含め、身体的、知的、社会的、情緒的、言語的能力に関係なく、全ての子どもが平等かつ効果的に、安全でジェンダーバイアスのない状態で学び、参加できることを意味する。IQEは、教育課程へのアクセスから、その実施に至るまで、教育制度のあらゆる側面を考慮することを通して、全ての子どもとユースに、前向きで生産的な生活を送り、ジェンダー平等、平和、社会正義を推進し、気候変動などの問題に取り組むために必要なスキル、知識、態度、行動を提供することを目指している。プラン・インターナショナルのIQEへのアプローチについては、<https://plan-international.org/publications/overview-inclusive-quality-education/> を参照。

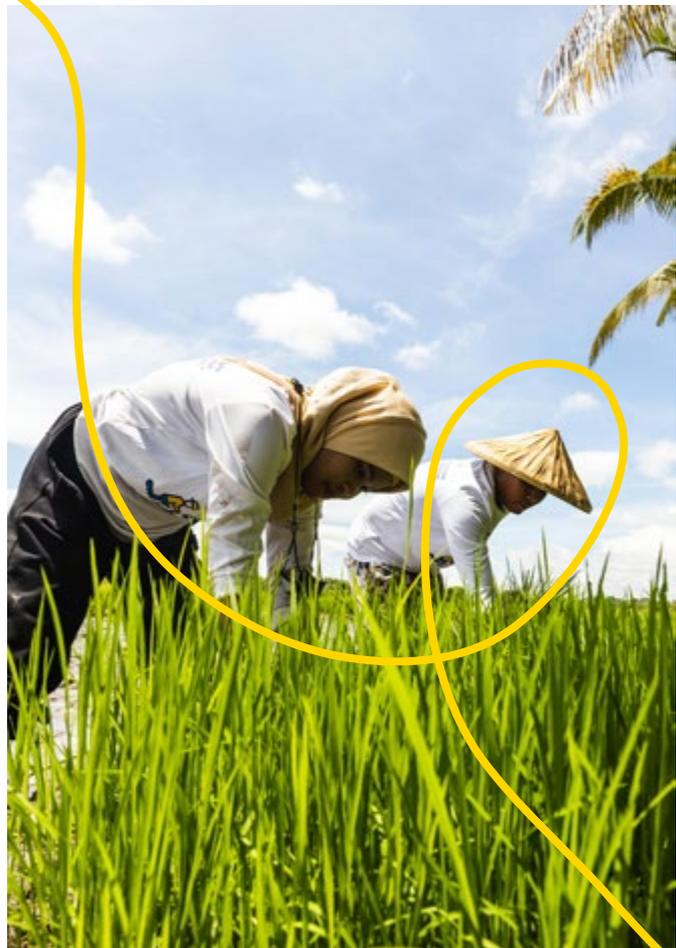
# CCEを優先する理由

2021年の気象現象により、中低所得国では少なくとも400万人の女の子が教育を修了できなかったと推定されている<sup>2</sup>。現在の傾向が続けば、気候変動は2025年までに毎年少なくとも1,250万人の女の子が学校教育を修了できなくなる主な要因となる<sup>3</sup>。

世界各地で、気候変動はより激しく、より頻繁に、そして複合的に災害を引き起こし、教育に深刻な影響を与えている。また、大規模な混乱に直面した場合、教育制度は本来あるべきレジリエンスに欠けていることも明らかになっている。子ども、思春期の若者、ユースは、気候変動の影響に対して最も脆弱である。彼らは、年齢、ジェンダー、民族性、障害、法的地位、貧困によって、政治的、社会的、経済的な障壁や不平等に直面している<sup>4</sup>。それだけでなく、気候変動への加担が最も少ない人々が最も強く影響を受けている。最も脆弱な人びとに不平等な影響を与えることで、気候変動は既存の不平等を拡大する。

気候変動は、女の子の権利に最も強く影響を及ぼすことが多いだけでなく、女の子たちはその状況への適応に必要な資源もほとんど持ち合わせていない。危機的状況下では、女の子が最初に学校を中途退学し、有給の仕事や、無報酬の世話や家事を引き受けることが多い。更に、調査結果が示すように、女の子の不就学期間が長ければ長いほど、学校に戻る可能性が低くなり、早すぎる強制された結婚、ジェンダーに基づく暴力(GBV)、意図しない早期妊娠などの有害な習慣の犠牲になる可能性が高くなる<sup>5</sup>。教育を受けていない女の子たちが、気候変動やその影響への対処法、気候変動に対する行動のリーダーや提唱者になる方法について学ぶ機会はほとんどない。

こういった理由からプラン・インターナショナルは子どもやユース、特に女の子とユース女性、そのコミュニティと連携し、気候変動リスクの軽減や気候変動への適応、レジリエンスの強化を目的として、公正でジェンダー・トランスフォーメティブ・アプローチ<sup>6</sup>を取り入れたCCEに取り組んでいる。気候変動に起因する(または関連する)災害や避難では、教育は身を守り、命を救い、生命を維持する役割を果たす。ゆえに、教育へのアクセスと継続性に取り組むことは、組織にとって重要な優先事項である。更に、CCEは気候危機に対する最も効果的な解決策の一つであり、子どもやユースに、コミュニティ単位での適応、災害リスクへのレジリエンス、気候変動に対する活動、将来を保証する生計のために必要なスキルや知識を身につけさせるものである<sup>7</sup>。



気候に配慮した農業プロジェクトの一環として、田植えをするユース、フィリピン

質の高いCCEはまた、**アジェンダ2030**、**パリ協定**、**仙台防災枠組み**といった世界的な公約達成の実現にむけた必要な緊急行動を遂行するための鍵でもある。プラン・インターナショナルのCCEに関する取り組みは、「持続可能な開発の原則、価値観、実践を教育と学習のあらゆる側面に統合し、全ての人々にとって持続可能で公正な社会を実現するための行動の変化を促す」ことを目的とした「**国連持続可能な開発のための教育の10年**」を先導してきたユネスコ、ユニセフ、UNEPの活動と一致している。プラン・インターナショナルのCCE推進への取り組みは、**環境に関する世界方針**と、5カ年戦略(2022~2027年)「**All Girls Standing Strong**」に概説されている女の子の権利に関する組織的焦点に一致したものである。

2 Inter-agency network for Education in Emergencies (INEE): Mind the Gap 2: seeking safe and sustainable solutions for girls education in crisis (2022)

3 Malala Fund, a greener, fairer future (2021) [https://assets.ctfassets.net/0oan5gk9rgbh/OFgutQPKIFoi5fY2iwFC/6b2fffd2c893ebdebee60f93be814299/MalalaFund\\_GirlsEducation\\_ClimateReport.pdf](https://assets.ctfassets.net/0oan5gk9rgbh/OFgutQPKIFoi5fY2iwFC/6b2fffd2c893ebdebee60f93be814299/MalalaFund_GirlsEducation_ClimateReport.pdf)

4 UNICEF, The climate-changed child (2023): <https://www.unicef.org/reports/climate-changed-child>

5 Plan International, Real Choices Real Lives (2023)

6 <https://plan-international.org/eu/blog/2019/01/24/blog-alex-munive-gender-transformative-approach/>

7 Brookings, Three Platforms for Girls Education in climate strategies (2017): <https://www.brookings.edu/articles/3-platforms-for-girls-education-in-climate-strategies/>

Esther (24歳)、CCEIに関するセッションを学校で  
開催、シエラレオネ



## 私たち独自の付加価値： ジェンダー・トランスフォーメティブ 気候変動教育

過去5年間、プラン・インターナショナルは、GTE関連の活動で教育セクターにおける高い評価を得てきた。2021年、私たちは、ユニセフ、Transform Education、国連女子教育計画(UNGEI)と共同で、**GTEとは**、教育制度や、学習者や教育者が属する家庭、コミュニティ、教育機関において、平等な機会を妨げている構造的な不平等を認識し、是正する試みであると**定義した概要**を発表した。そのためには、教職員、教育課程、教育法、学習環境におけるジェンダー平等のための目標と基準を設定し、その目標と基準を達成するために、あらゆるレベルで資源と政治的関心を配分する。それにより、GTEの力を、ジェンダー平等を真の優先事項や価値観とする、より公正で、包摂的で、寛容な社会をもたらすために活用できるようになる<sup>8</sup>。

プラン・インターナショナルは、ジェンダー・トランスフォーメティブな包摂的で質の高い教育が、気候変動への世界的な対応に不可欠な要素であると認識している。CCEIへのジェンダー・トランスフォーメティブ・アプローチは、気候危機がもたらすジェンダー化した影響、特に女の子とユース女性が直面する特有の経験と課題を認めるものである<sup>9</sup>。従って、学習者全員が自らの権利を行使し、気候危機、ジェンダー不平等、そして性差別、人種差別、植民地主義などの抑圧の仕組みの根本原因に挑戦するために必要な知識とスキルを身につけられるよう、学習者に合わせた情報と資源を提供することにより、こうした不平等に対処しようとするものである。このアプローチは、子どもやユースの、他者や自身を取り巻く世界についての考え方の変化を促し、気候正義とジェンダー正義に向けた前進を推進する根幹となるものである。また、子どもやユース、特に女の子やユース女性が、準備、AA、迅速な対応など、ジェンダー・トランスフォーメティブな気候変動への適応をコミュニティで主導し、国・国際レベルの気候政策プロセスに関与できるようにすることも極めて重要である。

8 Plan International, UNGEI, UNICEF, Transform Education, Brief on Gender-Transformative Education (2021) [https://plan-international.org/uploads/2022/01/unicef\\_plan\\_ungei\\_te\\_gender\\_transformative\\_education\\_web\\_copy\\_10dec21.pdf](https://plan-international.org/uploads/2022/01/unicef_plan_ungei_te_gender_transformative_education_web_copy_10dec21.pdf)

9 UN Women, Gender Equality and Climate Change Explainer (2022): <https://www.unwomen.org/en/news-stories/explainer/2022/02/explainer-how-gender-inequality-and-climate-change-are-interconnected>

# 世界的な影響： CCEプログラムと働きかけ

プラン・インターナショナルは、全てのCCE活動において、次を満たすアプローチを導入するよう努めている。

- 子ども・ユース中心
- 複数セクターの関与を促進
- 脆弱で紛争の影響を受けやすい環境を含む、あらゆる状況を対象とする
- 構造的な不平等の撲滅を目指し、ジェンダー・トランスフォーマティブで交差的である

戦略的提携、連合、ネットワークを通じて活動することは、プラン・インターナショナルの世界的な役割とCCEへのアプローチにとって不可欠な要素である。これらには例えば以下のようなものがある。

- Asia Pacific Coalition for School Safety
- Anticipation Hub
- Centre for Educational Research and Innovation
- Charter on Climate and Environment for Humanitarian Organisations
- Children in Changing Climate Coalition
- Education Cannot Wait
- 教育セクターにおけるDRRとレジリエンスのための国際連盟(GADRRRES)
- Global Education Cluster
- 教育のための国際連携(GPE)
- Greening Education Partnership
- Inter-agency Network for Education in Emergencies

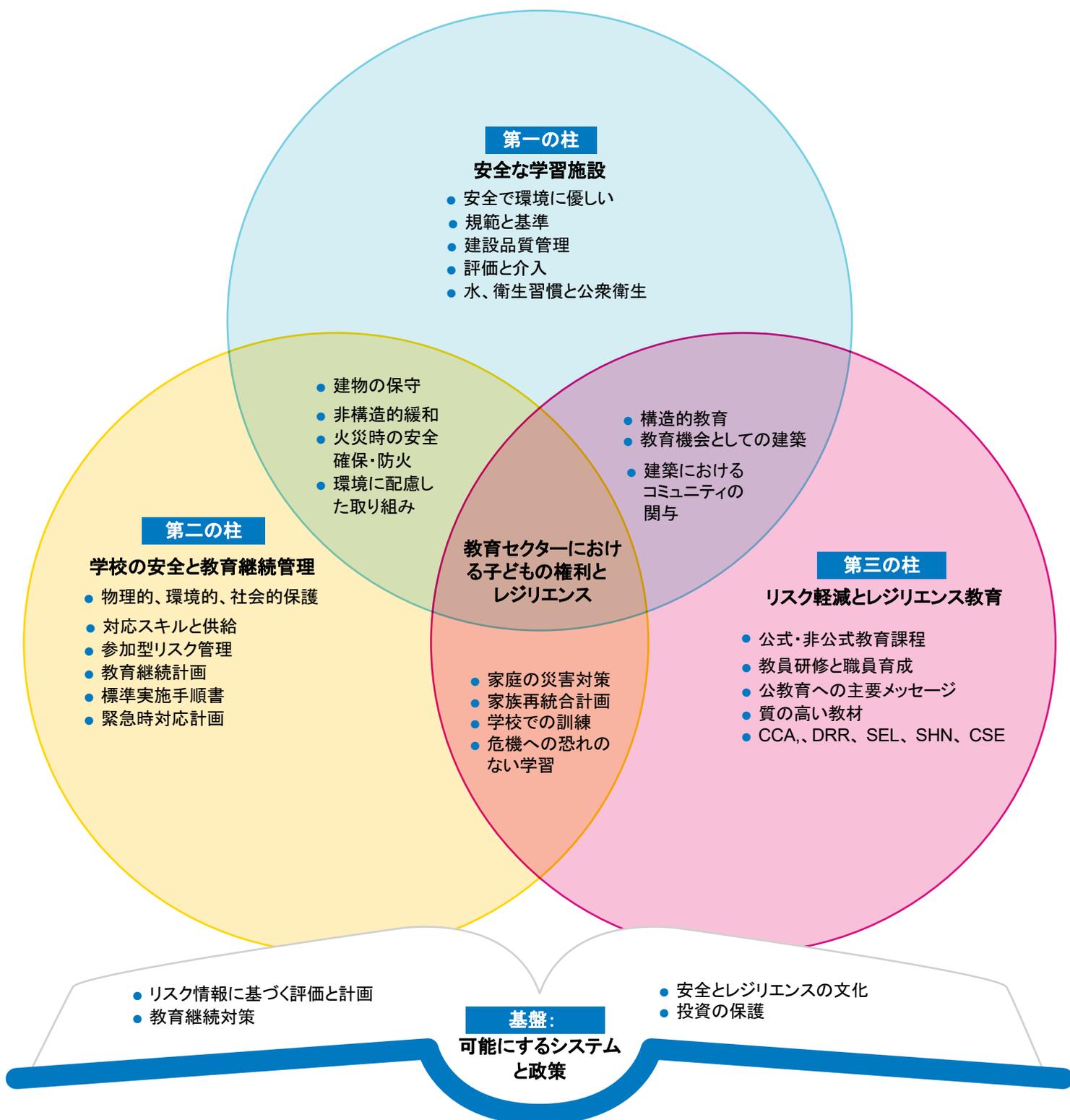


学校の庭で植物に水をやる女の子、ティラベリ地方、ニジェール

## プログラム

プラン・インターナショナルのCCEに関するプログラムは、GADRRRESのメンバーとの協働で作成された最新のCSSF2022-2030に沿ったものである。この枠組みは、教育制度が直面するあらゆる危険やリスクからの耐性と安全性に対する包括的なアプローチを提供するものである<sup>10</sup>。これは、気候変動や紛争などの要因が複雑に絡み合い、長引く人道危機を生み出している今日の世界情勢の中で、気候変動の影響に対応するために修正されたものである。総合的な学校安全の枠組みは、教育セクターにおける子どもの権利、持続可能性、レジリエンスを支援することを目的としており、「安全な学習施設」、「学校の安全と教育継続管理」、「リスク軽減とレジリエンス教育」という3つの柱が交差している。詳細は次の図を参照。

10 「あらゆる危険とリスク」は、教育当局が自然災害や気候変動、技術的・生物的・健康上の危険、紛争や暴力、日常的な危険や脅威に対抗するために役立つアプローチである。詳細は：<https://inee.org/sites/default/files/resources/CSSF%202022-2030%20-%20Full%20version%20.pdf>



この10年間、プラン・インターナショナルは、ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチを通じて、知識とスキルを行動に移すことに重点を置きながら、CSSFの第2と第3の柱の実施に関する特別な専門知識を培ってきた。プラン・インターナショナルは、インドネシア語や中国語への翻訳を含め、地方レベルでのCSSFの文脈化を支援し、全てのプログラムの枠組みやツールにジェンダーの視点を強化するという継続的な約束に沿って、一貫してジェンダー・トランスフォーマティブな言葉を含めるよう提唱してきた。

以下では、プラン・インターナショナルが経験した事例を紹介する。

- 気候変動が教育制度に与える影響への対応
- 気候変動を教育課程に組み込む
- 学習を気候変動に対する活動につなげる



Nellyは仲間のユース・リーダーとグループ活動に参加、エクアドル

### 気候変動が教育制度に与える影響への対応

気候変動が教育制度に与える影響に対処するため、プラン・インターナショナルは、DRRや適応策、AA、気候ショックやストレスからの迅速な対応や回復に至るまで、気候レジリエンスを強化するための準備と対応の全領域を網羅するDRMアプローチを採用している。教育における備え・AA・迅速な対応は、プラン・インターナショナルの重要な投資分野である。**PIR枠組み**は、脆弱性と不平等の根本原因に取り組む包括的でジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチを採用し、全てのプログラムと政策活動でレジリエンスを強化するという組織のビジョンを表している。これは、CSSFIに沿ったもので、異常気象や気象事象の発生前・中・後の主要な教育サービスの継続を支援するものである。

プログラムの実施を通じて、プラン・インターナショナルは、学校、保護者、コミュニティがリスク評価を実施し、包括的な早期警報システムを確立し、リスク軽減と緊急時対応計画、保護メカニズムを策定し、学校やコミュニティで模擬訓練を実施する能力を支援する。国レベルでは、プラン・インターナショナルは、気候変動の影響、適応、保護について啓発し、子ども、思春期の若者、ユースが自らを守り、リスク軽減、レジリエンス構築、持続可能な開発に貢献するために必要な知識とスキルを身につけられるよう取り組んでいる。

プラン・インターナショナルはまた、予測可能な災害が発生する前、あるいは最も深刻な影響を受ける前に、警告の発生やトリガー作動時点で、その人道的影響を軽減するための保護行動を指すAAIに関する活動を強化している<sup>11</sup>。**Anticipation Hub**のAAの作業部会の保護・ジェンダー・包摂における共同リーダーとしての役割や、世界教育クラスターの準備とAAのタスクチームを通じ、プラン・インターナショナルは、パートナーと共に、教育とAAの統合に関する計画作業の先頭に立ち、概要「Integrating child protection, education and gender-based violence in anticipatory action」と「**Guidance on Coordinated Anticipatory Action in Education**」を作成した。

気候ショックやストレスに対応するため、プラン・インターナショナルは、EiEにおいて培った豊富な経験を基盤としている。これには、ジンバブエとモザンビークのサイクロン「Idai」後の教育制度の再建支援<sup>12</sup>や、長引く紛争と気候変動による中央サヘル諸国の未曾有の食料危機への対応としての革新的な学校給食支援などが含まれる<sup>13</sup>。

11 AAの詳細は：<https://www.anticipation-hub.org/about/what-is-anticipatory-action>

12 Plan International, Building Back Better: Focusing on EiE in Zimbabwe and Mozambique (2018): [https://plan-international.org/uploads/sites/51/2022/02/building\\_back\\_better\\_focusing\\_on\\_eie\\_in\\_zimbabwe\\_and\\_mozambique\\_1.pdf](https://plan-international.org/uploads/sites/51/2022/02/building_back_better_focusing_on_eie_in_zimbabwe_and_mozambique_1.pdf)

13 Plan International, School Feeding Initiatives in the Central Sahel (2023): <https://reliefweb.int/report/burkina-faso/school-feeding-initiatives-central-sahel-burkina-faso-case-study-october-2023>



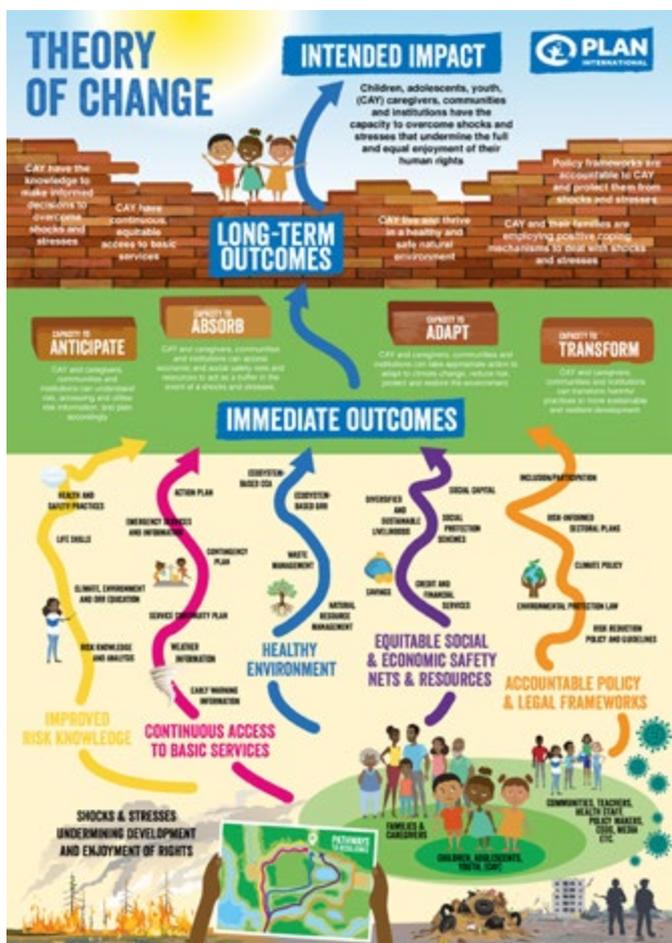
子どもたちが災害時の安全確保について学ぶ、ベトナム

### 安全な学校国際プログラムとASEAN SSI

安全な学校国際プログラム(2014~2017年)は、33カ国で約100万人の生徒を対象にした協調的な取り組みであった<sup>14</sup>。このプログラムは、子ども、思春期の若者、ユースが、自身の権利が尊重されている強靱なコミュニティで安全に成長するためのプラットフォームとしての学校を促進するために、開発および人道的な文脈の教育セクターのパートナーを巻き込んだものであった。

このプログラムは、CSSFを土台とし、プラン・インターナショナルの独自の参加型権利ベースのアプローチである、気候に配慮した気候変動に強い、子ども中心の災害リスク軽減を、DRRのための子ども憲章に沿った世界的な安全な学校運動に取り入れたものである。これらの相互に補強し合うアプローチにより、このプログラムは、学習者、学校、コミュニティを守るだけでなく、気候に配慮し、災害に強い新世代の市民を育成する。安全な学校国際プログラムでは、学習者は、DRRと気候変動への適応に不可欠な活動の中でも、特に、リスク脆弱性マッピング、避難と緊急時対応計画、学校の安全性評価の開発と実施に積極的に参加した。

プラン・インターナショナルは、アジア太平洋学校安全連合のリーダーとして、共通の枠組みや事例研究の取りまとめなど、CSSFの実施に関する知識の共有を促進するため、地域に**安全な学校タスクフォース**を設置した。インドネシア、カンボジア、フィリピン、東ティモール、ベトナム、タイでは、プラン・インターナショナルは省庁や教育施設と協力し、国レベルでのCSSFの導入を確実にした。インドネシアでは、プラン・インターナショナルは教育省と協力して、安全な学校の実施に関するデータの収集と強化、学校への災害影響のリアルタイムかつ標準化された評価の開発に焦点を当てた災害リスク管理情報システムに取り組んだ。



14 [https://planinternational.sharepoint.com/teams/drm/team003/Resilience-Site/TeamDocuments/GLO-Safe\\_Schools\\_Initiative-Final-IO-Eng-Jan18.pdf#search=safe%20schools%20initiative](https://planinternational.sharepoint.com/teams/drm/team003/Resilience-Site/TeamDocuments/GLO-Safe_Schools_Initiative-Final-IO-Eng-Jan18.pdf#search=safe%20schools%20initiative)

## ネパールでのジェンダーに配慮した学校とコミュニティの安全への取り組み(GRSCSI)

プラン・インターナショナルは現在ネパールで、プラン・インターナショナル・バングラデシュ事務所とアジア太平洋地域事務所、および現地のパートナー(HANDS NepalとEducation and Disaster Management office)と協力して、8つの学校と24の周辺コミュニティでGRSCSIを実施している。このプロジェクトは、複数の災害リスクに対応できる安全でジェンダー・トランスフォーマティブな学習環境の支援を目指している。これには、以下のような介入を通じて、学校とコミュニティの両レベルで、気候変動適応に関する啓発セッションと能力開発が含まれる:

- ジェンダーに配慮した包摂的で安全なインフラや環境へのアクセス改善
- DRMシステムと学校の防災準備イニシアチブの統合へむけたジェンダーに配慮した包摂的アプローチ
- 地方、州、国、地域レベルにおけるジェンダーに配慮した安全な学校の取り組みの推進

**「GRSCSIプロジェクトが企画した研修に参加してからは、生徒やその保護者に適切な情報やメッセージを伝える自信ができました」**

**Pramila Karki、学校防災委員会<sup>15</sup>**

### 気候変動を教育課程に組み込む

プラン・インターナショナルは、ジェンダー・トランスフォーマティブな気候変動教育を教育課程、教員研修プログラム、教科書、政策、計画に組み込むことが、長期的に持続可能な成果を確保するための基礎であると考えている。具体的には、CCEツールの提供においてジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチを徹底するよう努めるとともに、教育課程に取り入れるジェンダーに関連した内容を開発することを意味する。

プラン・インターナショナルのもつ重要な意義は、パートナーと協力し、ジェンダーをCCEの設計と実施の中心に据えることにある。

プラン・インターナショナルは、ジェンダー平等、人権、リスクとレジリエンス教育、気候変動への適応に焦点を当てた戦略的な多面的アプローチをとっている。さらにその活動は、正式・非正式・非公式を問わず教育を通じて、いっそうユースを中心に据えたビジョンのもと、子ども、特に女の子が主導する気候変動に関する活動を支援している。

これには、CCE教育課程やツールの設計・使用・推進に、ユース、特に女の子とユース女性を参加させることの重要性を認識することも含まれる。プラン・インターナショナルが実施したいくつかの調査プロジェクトでは、教育課程改革にジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチを取り入れること、気候変動に関する

教員研修に投資すること、学習計画の策定に子どもやユースの有意義な参加を確保することなどのユースによる提言が取り上げられている<sup>16</sup>。

**「洪水を防ぐための植林など、この国が気候変動に対処するために自然を保護する方法については学びました。でも、それは十分ではありません...現状に適応する方法を学校で教えるべきです。例えば、乾期に悪天候による影響を最小限に抑える適切な方法を、人びとが学ぶなんらかの技術があるはずです」**

**Reyna、16歳、フィリピン、現実の選択、現実の生活、2023年**

世界レベルでは、ユネスコが設立した世界的イニシアチブ、**緑化教育提携(GEP)**のメンバーとして、プラン・インターナショナルはCCEの世界的な枠組みの開発に尽力している。更に、プラン・インターナショナルは、GEPの「緑化教育課程」作業部会を通じて、教師が授業に活用できる実践的なツールに対する学習目標のマッピングを提唱し、この枠組みが実践的に活用できるよう取り組んでいる。このプロセスはまた、学習教材内に見られる主な空白部分を特定し、特に年齢相応のジェンダーに配慮した教材を通じて、CCEにおける隙間部分に効果的に対処している。

気候変動に関する内容の統合には、通常、技術的な検討や分野横断的な専門家の合意形成のために、かなりの時間が必要である。国の状況に応じて、プラン・インターナショナルは、地方主導のCCE活動を位置づけ、関連する官公庁との国レベルの対話を推進し、また国際的な協力関係の中で積極的かつ技術的なパートナーとして貢献することで、教育課程の統合に向けて取り組んでいる。地方レベルでは、CCEのツールやリソースを戦略的に展開することが、その国の状況に合わせた効果的なアプローチの基盤を構築する上で重要である。この点に関して、プラン・インターナショナルは、現地の実施パートナーと協力し、共同運営の実現を目指し、当初から教育省、環境省、市民保護省、災害対応管理機関、気象機関と連携している。

プラン・インターナショナルはまた、省庁とのCSSFの位置づけを通じて、CCEの教育課程統合を開始する。GADRRRESの運営グループメンバーとして、プラン・インターナショナルは、CSSFの国家レベルでの承認と、それに続く積極的な実施を推進している。CSSFは、「リスクとレジリエンス教育」に関する第三の柱の下に、教育課程統合のための特別な焦点を含んでいる。プラン・インターナショナルのアジア太平洋およびアメリカ大陸の事務所の多くが、このアプローチで良い進展を見せている。東ティモールは、CSSFの第三の柱である「リスクとレジリエンス教育」の下で、プラン・インターナショナルが教師と共同で設計した双方向型の気候変動適応リソースのパッケージを学校で活用するために、省庁が承認したCSSF枠組みのガイダンスを活用している。

15 Plan International, Emerging female leaders for safe schools in Nepal: <https://plan-international.org/asia-pacific/case-studies/female-leaders-safe-schools-project-nepal/>

16 Plan International, Real Choices Real Lives (2023); Plan International, Young People and Green Skills (2022)

## 4CAプログラム(2012～2016年)の成功を土台に

プラン・インターナショナルは、CSSFの第三の柱に基づき、子どもを中心とした気候変動への適応(4CA)というアプローチで実施された気候変動カリキュラムに賛辞を贈りたい。これは、子どもとそのコミュニティが気候変動に対する意識を高め、適応の取り組みに積極的に参加できるようにすることを目的としている。4CAプログラムは、2011～2016年にかけて、アジア太平洋の14カ国で実施された<sup>17</sup>。オーストラリア政府、COFRA、Oak Foundation、スペイン政府の支援を受け、10万人超の子どもが直接参加し、75万人超の人びとにアプローチした。

4CAプログラムの全体的な目標は、「気候変動に伴うリスクの管理・軽減に子どもやユースが貢献する、安全で強靱なコミュニティ」を構築することである：

- 子どもとユースを中心とした適応プロセスを促進するために、気候変動とそれに関連する災害に対する子ども、思春期の若者、ユース、そして彼らのコミュニティの意識と能力を高める
- 地域ごとに適切な気候変動対応策を開発・実施する
- 地方、州/国政府の手続きにおいて、4CAの好事例や教訓を取り入れるよう提唱する

このプログラムでは、気候変動により物事がどう変化し、なぜ変化するのか、そして自身の権利にどんな影響があるかを子どもやユースが探求し、その主体性を養い、コミュニティのレジリエンスに対して自らが果たせる役割について、大人が子どもから学ぶことを促した。活動には、複雑な気候科学の話題を、地元コミュニティのツールや知識を用いて実際の生活に落とし込むことや、コミュニティや学校に小規模な資金を用いて適応プロジェクトを設計・実施するよう求めることなどが含まれた。このプログラムの大きな成功のひとつは、教師用指導書や生徒用教本から、漫画、アニメ映画、ゲームに至るまで、現地の状況に合わせたジェンダーや年齢に対応した教材を開発したことである<sup>18</sup>。タイでは、教育省が教師用指導書を正式に承認し、この指導書は対話型の教授法を用いたCCEに関する1,380人以上の教師の研修に使用された。このアプローチには、ピアツーピアの学習形態も含まれており、子どもやユースが仲間同士やコミュニティ内で意識を高めることを可能にしている。ベトナムのクアンチ省では、気候変動コミュニケーションと呼ばれる子どものグループが、ゲームや映画などのコミュニケーション活動を通じて、気候変動への適応と軽減について他の子どもを指導・訓練した。

最後になったが、「子ども気候変動カード」、「Y-Adapt」、「ユース政策ワークブック」(以下の項目を参照)のような、学習と行動を共有する教育法を促進する具体的なリソースが優先される。これらは、子ども主導の気候変動への適応と提唱活動を支援・鼓舞し、実践的な関連性と学習の応用を示すことを目的としている。これらの教材はまず、放課後クラブ、ユースや女の子ども主導のネットワーク、IDPキャンプで実施され、また長期的な教育課程への統合を戦略的に視野に入れ、教師が授業に組み込んで使用する。

### 学びから行動へ

プラン・インターナショナルのCCEに関するプログラムは、子どもやユースがコミュニティで気候変動対策に取り組み、地方、国、国際レベルでの気候変動政策プロセスに参加することを支援するものである。これには、他の優先事項の中でも、持続可能な未来とグリーン経済への公正な移行に向けた準備の鍵として、子どもやユースのグリーンスキル育成の重要性を認識することが含まれる。

ユースへの経済的エンパワーメントに関するプラン・インターナショナルの活動には、気候変動の段階的な影響と喫緊の影響の両方に対するレジリエンスを構築するため、グリーンスキル、考え方、起業家精神に関するユースとの話し合いが含まれる。

これまでにプラン・インターナショナルは、子どもやユース、教師、教育環境省との協力のもと、気候変動対策を推進するための3つの実践的な教育ツールを共同設計してきた。

#### ● Y-Adapt 教育課程

赤十字赤新月気候センター、プラン・フィリピン、フィリピン赤十字と共同で設計した革新的な教育課程で、13～25歳のユースがゲームベースの教育アプローチを用いて、気候変動に適応するための行動計画や提唱計画を策定し、実施する。今までにフィリピンとインドネシアの対象校で展開されており、その一例として、豪雨時の通学を確保するために、屋根付き歩道を建設するためのユース主導の提唱活動がある<sup>19</sup>。エジプトでは現在、プラン・インターナショナルが、このカードとY-Adaptを国の状況に合わせて変更するとともに、気候変動とジェンダーの交差に関するセッションを追加し、視覚や聴覚に障がいのある子どもやユースも取り込むよう、リソースも変更しているところである。

#### ● 子ども気候変動カード

「今こそ気候変動対策を」と世界的に呼びかける小学生を支援するため、学校内外で使用される一連の対話型活動である<sup>20</sup>。このカードは現在、様々な状況で使用されている:ソマリランドの学校では教育省との協力で;東ティモールでは教育課程との統合で;ケニアでは自然を基にした解決への取り組みに統合して;インドネシアでは放課後クラブで;ミャンマーではIDPキャンプで;そしてアメリカ大陸で使用するためにスペイン語に翻訳されている<sup>21</sup>。

17 バングラデシュ、インドネシア、ラオス、ミャンマー、ネパール、フィリピン、タイ、ベトナム、フィジー、キリバス、バブアニューギニア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル。

18 Plan International's Approach to Child-Centred Climate Change Adaptation (2016): <https://www.plan.org.au/wp-content/uploads/2020/08/evaluation-of-plan-international-child-centred-climate-change-adaptation-project-july-2016.pdf>

19 <https://weadapt.org/knowledge-base/y-adapt/>

20 それぞれのカードには、気候変動とは何かを学び、世界的および局所的な影響を発見し、気候変動に対する活動の物語からヒントを得ることができる、楽しい気候変動の創造的なミッションがある。目標は、世界の全ての国の子どもに気候変動対策を呼びかけ、意思決定者に子どもの声に責任を持たせることである。

21 <https://plan-international.org/publications/childrens-climate-cards/>



気候変動に対する啓発活動に創意工夫を凝らす  
ユース・アドボケイト、タイ

### ● 気候変動政策におけるユース・リーダーシップワークブックとファシリテーター・ガイド

このワークブックは、気候変動に対するエンパワーメントに的を絞った内容と活動を提供することで、気候変動政策に関与するためにユースの知識とスキルを向上させるもので、これには、国が決定する貢献<sup>22</sup>の策定と提示、気候変動アクターの関係者マッピングの実施、気候政策行動計画の作成などが含まれる。このツールは、ユースの気候変動に関する意思決定の場へのアクセスを支援し、気候正義、公平性、公正性の概念を統合し、権利に基づく視点から軽減と適応に関する批判的思考を促すことを目的としている。このワークブックは、気候変動政策プロセスにおいて構造的に排除された集団が直面する参加と包摂への障壁について、学習者に考察を促す<sup>23</sup>。

### インドネシアにおける気候変動に関する ガールズ・リーダーシップ・プログラム

2022年、プラン・インターナショナルはインドネシアで、ユース女性が気候変動への適応・軽減行動を起こすプラットフォームを提供目的とした「気候変動に関するガールズ・リーダーシップ・プログラム」を開始した。合計337人のユース女性がオンラインで登録され、23の県/市と12の州を代表する24人のガールズリーダーが最終プログラムに参加した。

メンター代表との啓発セッションやユース・メンターとのリーダーシップ・クラス、ユース・キャンプなどの活動に、ユース女性たちが参加した。プログラムの最後には、自分たちが暮らす環境で起こる気候危機への行動実施を目的として、各女の子リーダーに200万ルピア(約125ドル)の助成金が提供された。これらの活動の成果は、対話形式で発表された。

22 パリ協定は、各国にNDCと呼ばれる2020年以降の気候変動対策の概要と伝達を要請している

<https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/nationally-determined-contributions-ndcs>

23 <https://plan-international.org/publications/youth-leadership-in-climate-policy-workbook-and-facilitators-guide/>

## 働きかけ

プラン・インターナショナルのCCEIに関する世界的な提唱活動は、女の子とユース女性が「気候変動の影響を予測・適応・変容し、あらゆる開発および人道的環境における主要な気候変動戦略と行動の開発・実施・監視に関与する機会を持つ」ことを支援することを含め、気候変動対策における女の子のリーダーシップの促進に焦点を当てている<sup>24</sup>。プラン・インターナショナルは、女の子とユース女性主導の気候変動対策運動との提唱連携を深め、彼女たちが気候変動プロセスに有意義に関与することを支持している。これまでのところ、これには、ジェンダー・トランスフォーマティブ気候変動教育に対する認識を高め、資金を集めるためのキャンペーンが含まれ、女の子が指導者、革新者、変革者となる力を与える教育に投資するよう世界の指導者に呼びかけている。

気候変動枠組条約の場における関与は、プラン・インターナショナルの気候変動提唱活動の重要な要素である。2009年以来、私たちは10回のCOPに参加し、子どもやユースの代表の有意義な参加を支援し、一貫して気候変動政策への子どもやユースを中心とした、ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチを提唱してきた。近年、プラン・インターナショナルは、損失と損害、適応、ACEIに関する交渉の中で、教育を受ける権利を重要な要素として強調してきた。

COP27に先立ち、プラン・インターナショナルは、損失と損害ユース連合と協力し、交差的、ユース中心、ジェンダー平等の視点で、損失と損害の意味と影響に関する概要を発表した<sup>25</sup>。AAIに関する活動の一環として、プラン・インターナショナルは、COP28の大統領円卓会議に参加できるようシエラレオネのユース活動家を支援し、世界の指導者たちに対しては、新しく発足した「**災害に先手を打つ**」憲章が世界の女の子のために確実に実現されるよう呼びかけた<sup>26</sup>。会議後、プラン・インターナショナルは、「**教育と気候変動に関する共通課題のための宣言**」を歓迎すると同時に、子どもに対する明確な公約と、女の子とユース女性特有のニーズへの取り組みの必要性を強調した。

*「女の子は気候変動運動の最前線にいます。私たちは、啓発と具体的なニーズに対応するための解決策を主導しています。COP28の声明が、「CCEを広げ、気候変動と闘うための積極的な行動に必要な知識、技能、価値観、態度を人びと、特に子どもやユースに与えるよう、締約国が努力することを奨励する」ものであることをうれしく思います。でも、これだけでは不十分です。女の子とユース女性を包摂し、私たち特有の知識と主体性を認識し、ジェンダー不平等の根本原因に取り組むようなCCEにリソースを提供し、取り組むためには、更に前進しなければなりません」*  
April, COP28 ユース代表、インドネシア



洪水に関する啓発ピラを配るNasrin、バングラデシュ

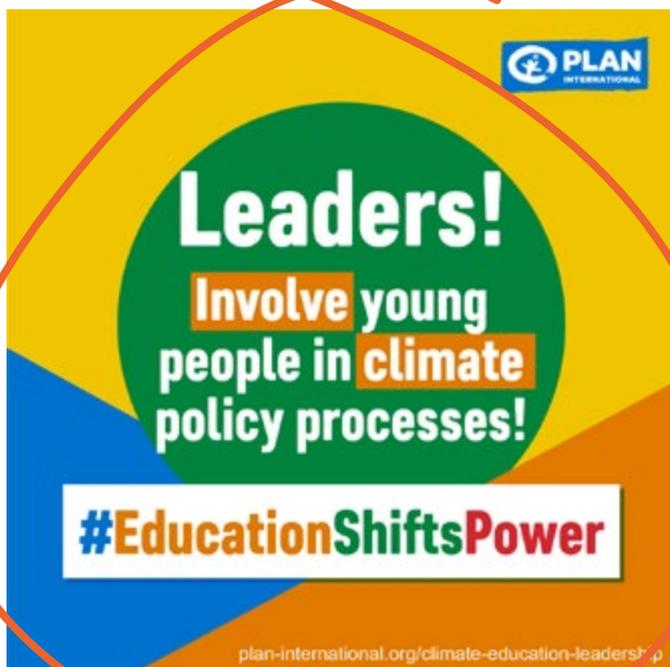
24 Plan International, Global Advocacy Strategy (2022-2027): <https://plan-international.org/publications/global-advocacy-strategy/>

25 Plan International, From the Frontlines (2022): <https://plan-international.org/publications/loss-and-damage/>

26 Plan International, COP28 news (2023) <https://plan-international.org/news/2023/12/05/at-cop28-girls-call-for-inclusive-early-action-to-get-ahead-of-disasters/>

プラン・インターナショナルのCCEに関する活動は、気候危機に対してより大きな責任を負っているドナー国のユースとも協力しており、これらの国々のユースは、気候正義を推進するために学び、行動を起こさなければならない。

プラン・インターナショナル・アイルランドのSQRIBEプログラム  
のGCE部門では、プラン・インターナショナル・アイルランドの  
YAP(16~24歳のユース集団)のメンバーが様々なCCE活動や  
提唱活動に参加している。リベリアとフィリピンの・プラン・イン  
ターナショナルの支援を受けたユースとの協力を通じて、アイル  
ランドのYAPメンバーはGlobal Youth Reporterプロジェクトに参  
加し、持続可能な開発目標に焦点を当て、ユースに優しいCCE  
の内容を作成している<sup>27</sup>。その他の取り組みとしては、YAPメン  
バーがCCEの重要性を訴える様々なワークショップや講演があ  
る。COP28出席の後続イベントとして、YAPメンバーの2人  
は、2024年4月にダブリンで「Feminist Voices for Climate  
Justice」と題したユース主導のCCEイベントを成功させた。



## リーダーたちよ！気候変動政策の策定に ユースを参加させよ！ #EducationShiftsPower

#EducationShiftsPower は、UNGEIが主催するフェミニスト活  
動家とユース主導のネットワークの連合体である**Transform  
Education**と提携し、プラン・インターナショナルが主導した2021  
年のキャンペーンである。このキャンペーンは、意思決定の場  
におけるユースの声を増幅し、女子教育のための資金の増額と、  
ジェンダーと気候正義の関連性に対する意識啓発を目的として  
始動した。

世界全体で注目を集める大イベント3つのG7、GPEサミッ  
ト、COP26を、ジェンダー・トランスフォーメティブ気候変動教育の  
ための具体的な政治的・財政的公約を活用する重要な機会と捉  
えていた。そのことからプラン・インターナショナルは、アフリカ全  
土の8つの国別事務所と協力し、国、地域、国際レベルの提唱活  
動に関わることで、**G7女子教育宣言**の立ち上げと、GPEを補充  
するための総額40億ドルの投入に貢献した。

この取り組みの一環として、プラン・インターナショナルは  
Transform Educationを支援し、史上初となるユース主導の権  
力移動を実施した。これは6000人のユース活動家が、援助削減  
を撤回し、女子教育に資金を提供し、ジェンダーと気候変動を前  
面および中核に打ち出した安全で包摂的な学校を優先するよ  
う、G7リーダーに対して共同呼びかけを行ったものである<sup>28</sup>。

このキャンペーンはまた、COP26で発表された、ジェンダー・ト  
ランスフォーメティブ気候変動教育に関するユース主導のフェミニ  
スト声明も促進した。この声明は、CCEに存在する隙間を概説  
し、ジェンダーと気候変動の不正を助長する制度や規範への  
挑戦を含め、気候危機に取り組み、権利を主張し行使するた  
めのスキルと知識を女の子に与え、リーダーや意思決定者となる  
よう力づけるために必要な8つの重要な側面について述べている<sup>29</sup>。

*「形だけのユースの参加ではなく、有意義な提携を結ぶことは、と  
ても新鮮なことです。あらかじめ用意されたスピーチの原稿を  
持ってステージに立たされるのではなく、創造するためのプラット  
フォームと自由を与えられる。私たちの考えが同等の価値を持つ  
空間にいる。パワーが移動する空間<sup>30</sup>」*

Nnenna Onwuka,  
Transform Education共同コーディネーター

27 内容はプロジェクトのインスタグラム・ページ「[sustainablysmart.plan](https://www.instagram.com/sustainablysmart.plan)」で公開。

28 "世界の指導者の皆さんへ"ビデオ、#EducationShiftsPowerキャンペーンの一環 [https://www.youtube.com/watch?v=LpfkYvEIQ98&t=10s&ab\\_channel=PlanInternational](https://www.youtube.com/watch?v=LpfkYvEIQ98&t=10s&ab_channel=PlanInternational)

29 Transform Education, Our call for gender-transformative education to advance climate justice (2021) [https://plan-international.org/uploads/sites/27/2022/03/final\\_final\\_final\\_youth\\_led\\_statement-1.pdf](https://plan-international.org/uploads/sites/27/2022/03/final_final_final_youth_led_statement-1.pdf)

30 <https://www.generationunlimited.org/media/7341/file/English.pdf>

# 調査

プラン・インターナショナルは、参加型アプローチを通じてCCEに対する彼らの考え方を理解するため、世界中の子どもやユースを対象に豊富な調査を実施した。

- **CCEとユース・リーダーシップの再構築**

1,900人を超える思春期の若者とユースを対象とした世界的な調査で、気候変動に関する彼らの経験と、彼らの教育へのアクセスや修了への影響について調べたものである。参加者の5人に1人は、気候変動に関する教育が不十分または非常に不十分であると評価し、82%がパリ協定に関する情報をどこで入手できるかを知らず、気候変動のジェンダー化された影響について学んだことがあるのはわずか16%であった。

- **現実の選択、現実の生活**

2023年版の報告書は、女の子自身の言葉による女の子の意見と経験を提示しており、女子教育が気候変動によりどう阻害されるかを明らかにし、教育が女の子の適応とレジリエンスの強化にどう役立つかを明らかにしている。この報告書には、1)安全な学習環境と学校の準備、2)気候変動に関する教育課程の改善、3)気候変動への適応と教育を可能にする環境に関する提言が含まれている。

- **気候危機における思春期の女の子たち:ザンビアとジンバブエからの声**

気候変動が思春期の女の子とユース女性の教育へのアクセスにどう影響するかについて調査した、ユース女性調査員によるフェミニズム参加型行動調査から得られた詳細な知見。

- **未来のために**

オーストラリア、インドネシア、ネパールのユース30人に、気候危機が女の子の教育を受ける権利にどう影響しているかを尋ねたフェミニスト参加型行動調査に基づく、気候正義と教育に関するプラン・インターナショナルの報告書。ユースはプロジェクトの共同調査員として参加し、自ら設計、分析、データ収集を行い、インドネシアとオーストラリアのユース活動家がアジア太平洋気候週間とCOP28で報告書を発表した。

- **ユースとグリーンスキル**

ユースは、新興の変化するセクターに参加し、気候危機に挑むために必要な変革の原動力となる用意があると感じているかどうかを、ジェンダーによって認識や経験がどう異なるかを含め、理解するための2022年調査。

- **アジア太平洋地域の女の子たちの気候正義活動とリーダーシップ**

この報告書は、アジア・太平洋地域における気候変動対策と正義を求める女の子とユース女性の役割を、ユース女性リーダーの生きた経験、知識、専門知識に焦点を当てた現地の事例研究とともに記したものである。

- **Climate change: Young women and girls in Northern Thailand**

この報告書は、タイ北部のユース女性や女の子が直面する気候変動に関する具体的な問題を明らかにしたもので、彼女たちの経験は、年齢やジェンダーだけでなく、貧困、法的地位、民族性、言語、教育などによっても左右される。

私たちは、気候変動の影響を受ける女の子の視点・経験・要求を中心に据えた調査を優先して続けている。直近の調査報告書「Our Voices for our Tomorrow」には、「未来のサミット」に先駆けた調査結果やユースの要望が盛り込まれている。そして、女の子たちが自分たちのコミュニティの気候正義推進にむけてエンパワメントできるように必要とする重要な投資として、CCEの輪郭を捉えている。

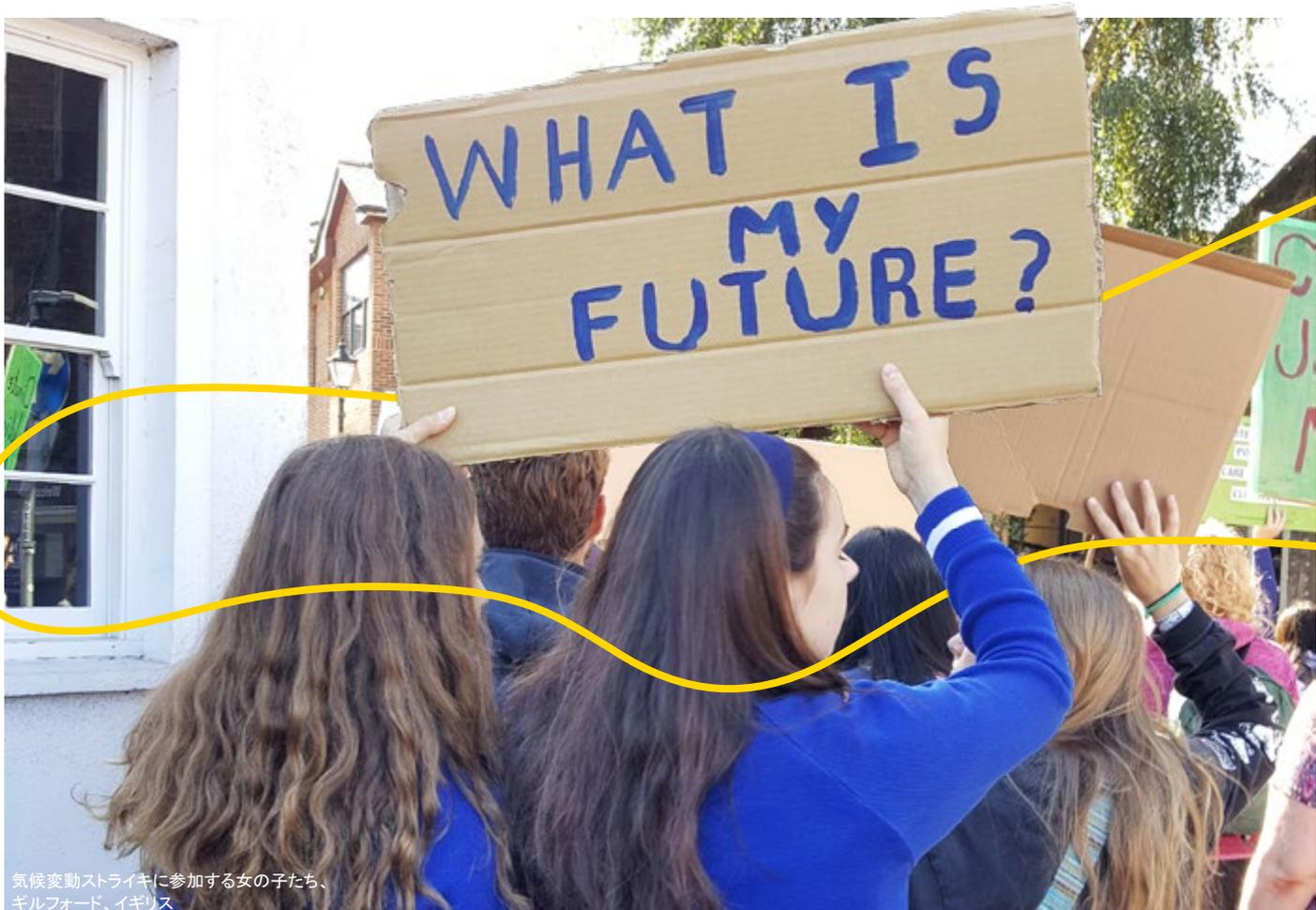
## 今後の展望：CCEの次の目標は？

プラン・インターナショナルは、より公正で平等、平和で持続可能な世界を築くために、教育の変革力を活用することに尽力している。私たちは、気候変動に対する効果的な世界的対応は、教育制度を強固で強靱なものにし、学習者が適応能力を構築できるよう支援し、環境の持続可能性を促進することにかかっていると認識している。更に、私たちは、気候変動を教育課程に組み入れ、準備、AA、迅速な対応に焦点を当て、ジェンダー・トランスフォーマティブで、ユース中心のアプローチを徹底するという公約を改めて表明する。

今後数年間、プラン・インターナショナルはCCEに関するプログラムと提唱活動を一層強化するつもりである。新規および既存の提携関係や戦略的機会を通じて、世界の指導者や意思決定者に影響を与え、ジェンダー・トランスフォーマティブなCCEのための政治的・財政的貢献を確保することを目指す。また、CSSと気候変動と教育に関するプログラムを強化し、ジェンダー・トランスフォーマティブ・アプローチが全ての活動分野と地域で一貫性を保証し続ける。気候変動と教育に関する今後の活動を強化するため、プラン・インターナショナルが重要だと認識しているものを以下にあげる。

- ユースがAAに有意義に参加することを含め、気候変動による教育への影響を軽減・緩和するための、柔軟性のある教育の提供。
- 環境ステewardシップ、グリーンスキル、持続可能な開発、気候正義を支援する教育課程と学習アプローチを開発する。
- 気候変動への適応、レジリエンス構築、公正な移行において、女の子とユース女性がリーダーシップを発揮し、意思決定の役割を担うのを支援する。
- 気候危機の歴史的な重荷を背負っている国々でCCEに関する提唱活動を強化し、子どもやユースが気候正義の意味を再定義し、再構築するのを支援する。

子どもやユースが、包摂的で質の高い、ジェンダー・トランスフォーマティブなCCEを求め世界中で声を上げている。人びとと地球がこれほどまでに危機に瀕している今、次のステップは明らかである：現在と未来の世代のために、CCEを世界規模に拡大し、より持続可能で公正な世界を実現することである。



気候変動ストライキに参加する女の子たち、ギルフォード、イギリス

# 付録 – Climate Change Education Programs and Initiatives

This list highlights some of the programs and initiatives that Plan International has implemented in the past and is currently implementing in the field of climate change education. It is based on a non-exhaustive internal scoping effort conducted as part of the background research for this document.

**Let's Adapt: The climate change adaptation game**  
Global | Learning resource

**Youth Leadership in Climate Policy Workbook and Facilitator's Guide**  
2021 | Global | Learning resource

**Y-Adapt Global Learning resource Children's Climate Cards**  
2021 | Global | Learning resource

**Raising our voice: Funding Climate Education and Youth Leadership in SE Asia and the Pacific**  
2021 | Asia-Pacific | Publication

**Four Our Futures: Youth Voices on Climate Justice and Education**  
2023 | Australia, Indonesia, Nepal | Publication

**Real Choices Real Lives: Climate change and Girls' Education**  
2023 | Global | Publication

**Real Choices Real Lives: Climate Change and Girls' Education. Insights from Benin, Togo and Uganda**  
2024 | Benin, Togo, Uganda | Publication

**Young people and green skills**  
2022 | Global | Publication

**Adolescent Girls in the Climate Crisis: Voices from Zambia and Zimbabwe**  
2021 | Zambia, Zimbabwe | Publication

**Reimagining Climate Education and Youth Leadership**  
2021 | Global | Publication

**Rapid Gender and Needs Analysis in Marsabit**  
2022 | Kenya | Publication

**Impossible Choices, Unheard Voices. How Hunger and Conflict Repress Girls' Rights in the Sahel**  
2023 | Burkina Faso, Mali | Publication

**Give Youth a chance: Child-centred climate change and environmental education in South-East Asia**  
2019 | South-East Asia | Publication

**Rising Tides: Mapping Youth Movements for Climate Resilience**  
2022 | Ethiopia, Fiji, Indonesia, Laos, Mozambique, Myanmar, Solomon Islands, Uganda and Zimbabwe | Publication

**From the frontlines. Youth call for action to address loss and damage caused by climate change**  
2022 | Global | Publication

**Gender Transformative Climate Change Action in the Pacific**  
2018 | Fiji, Solomon Islands | Publication

**The hunger crisis and its impact on girls.**  
2022 | Global | Policy brief

**Child-Centred DRR Toolkit**  
2010 | Global | Toolkit

**Child Centred Climate Change Adaptation (4CA)**  
2011-2014 (Phase I), 2014-2016 (Phase II) | Asia-Pacific | Programme

**Safe Schools Global Programme**  
Since 2014-2017 | Global | Programme

**ASEAN Safe Schools Initiative**  
2016 | Asia-Pacific | Programme

**Education Shifts Power**  
2021 | Global | Campaign

**Pathways to Resilience**  
2020 | Global | Framework

**We strive for a just world that advances children's rights and equality for girls**  
2017-2021 | Vietnam | Programme

**Gender Responsive School and Community Safety Initiatives (GRSCSI)**  
2021-2024 | Bangladesh, Nepal | Programme

**Strengthening Community Resilience to Disaster through School Safety Initiatives (SCRSSI) Project**  
2018-2021 | Bangladesh, Nepal | Programme

**Integrating Environment, Climate Change & Resilience**  
2022 | Mali | Programme

**Flood Resilience Project and MOVE UP Project**  
2021-2024 | Philippines | Programme

**Climate Change Awareness among farmers and school students in Aileu, Ainaro and Dili Municipalities**  
2019-2022 | Timor-Leste | Programme

**Innovation Learning for Disaster Risk Reduction**  
2020 | Thailand | Programme

**School feeding**  
Cambodia | Programme

**Preparing students for climate change in Mozambique**  
2024 | Mozambique | Programme

**Me and My Earth**  
2023 | Indonesia | Advocacy initiative

**Youth Panel at ECW Conference on Education and Climate in Oslo**  
2023 | Norway | Advocacy initiative

**Policy influencing around gender transformative climate change education.**  
2022-2023 | Mali, Sierra Leone, Senegal, Malawi, Zambia, Zimbabwe | Advocacy initiative

**Launch of the Risk Informed Early Action Partnership's 'Getting Ahead of Disasters Charter at COP28**  
2023 | Global | Advocacy initiative

**Three young activist participated in ReWirED event in COP 28, Dubai, 2023**  
2023 | Global | Advocacy initiative

**Young activist participation in Anticipation Hub's Global Dialogue Platform on Anticipatory Action**  
2023 | Ecuador | Advocacy initiative

**Your Future in Green Jobs**  
2024 | Global | Online Course

**Inclusive Community Disaster Risk Reduction and Management**  
2022 | Asia-Pacific | Booklet

**Let's Behave Green**  
2011 | Cambodia | Video

**The role of young people in reducing the impact of climate change**  
2023 | Indonesia | Case study

**Using body mapping with youth to learn about the intersection of sexual and reproductive health and rights and climate change**  
2023 | Finland, Ethiopia, Uganda, Mozambique, Zimbabwe, Laos and Myanmar | Blog

**Internal mapping of Plan International's experience in Anticipatory Action**  
2021 | Global | Research

**Disaster and Gendered Impact in a Changing Climate Towards Girls' Education**  
2021 | Asia-Pacific | Research

**COVID-19 and Adolescents' Education in Fragile Contexts**  
2021 | Global | Research



## 謝辞

このCapacity Statementはプラン・インターナショナルが作成した。この文書の作成は、Yona Nestelが主導し、Milena D'Atriが調整し、Barbara Scettriが技術的支援を行った。この文書を執筆し、プラン・インターナショナルの職員と広範な協議を行った外部コンサルタントのLeah Mosslに感謝する。IQE 中核グループと参照グループには、特に本書の形成に貴重な洞察と詳細なコメントを提供してもらい、感謝している: Brigitte Rudram, Stu Solomon, Peter Simms, Kristen Ostling, Vanda Lengkong, Jennifer Merryweather, Sara McGinty, Fe Nogra-Abog, Emilia Sorrentino, Rachael Lumley, Bassant Bahaa, Kelly Worwood, Soumya Brata Guha, Catharina Portich。プラン・インターナショナルの全プログラムと取り組みに関する情報を提供してくれたすべての同僚に感謝する。

この文書は[www.forty6design.com](http://www.forty6design.com)のAlan Bingleがデザインした。

この文書は、アイルランド政府からの寛大な寄付によって実現した。

プラン・インターナショナルのIQE活動の詳細については、包括的で質の高い教育 | プラン・インターナショナル([plan-international.org](http://plan-international.org))を参照のこと。

## プラン・インターナショナルについて

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、誰もが平等な世界の実現を目指し85年以上にわたり世界80カ国以上で活動する国際NGOです。一人ひとりの子どもが本来持つ力を引き出すことで地域社会に前向きな変化をもたらされることを信じて、子どもや若者、さまざまなステークホルダーとともに活動しています。特に、貧困や暴力、差別や排除によって弱い立場に置かれている女の子の支援に力を入れています。

子どもや女の子たちが直面している不平等を生む原因を明らかにし、その解決にむけ取り組むことで、子どもたちが生まれてから大人になるまで寄り添い、自らの力で困難や逆境を乗り越えることができるよう支援します。

誰もが平等な世界の実現にむけて、歩みを止めずに進んでいきます。

### お問い合わせ

Plan International  
Global Hub

Dukes Court, Duke Street, Woking,  
Surrey GU21 5BH, United Kingdom  
Tel. +44(0) 1483 755155/Fax: +44 (0) 1483 756505

 [Plan-international.org](http://Plan-international.org)

 [Facebook.com/planinternational](https://Facebook.com/planinternational)

 [Twitter.com/planglobal](https://Twitter.com/planglobal)

 [Instagram.com/plan-international](https://Instagram.com/plan-international)

 [Linkedin.com/company/plan-international](https://Linkedin.com/company/plan-international)

 [Youtube.com/user/planinternationaltv](https://Youtube.com/user/planinternationaltv)